
■はこぶね便、映画・コンサート企画プロモーション業務スタート!!

第1弾 映画「名もなき生涯」2月21日（金）ロードショー!!

五感を揺さぶる唯一無二の映像体験によって観る者を別次元へと誘い、今や生ける伝説と呼ばれる映画監督、テレンス・マリック。『天国の日々』(78)でカンヌ国際映画祭監督賞、『シン・レッド・ライン』(98)でベルリン国際映画祭金熊賞、『ツリー・オブ・ライフ』(11)でカンヌのパルム・ドールを受賞するなど、確固たる称賛を得るマリック監督が、最新作では46年のキャリアの中で初めて実在の人物を描き、カンヌ国際映画祭公式上映でも鳴り止まぬ歓声のなか、「人間の内面を豊かに描いた作品」に贈られる、エキュメニカル審査員賞を見事に受賞した。

第二次世界大戦時、ヒトラーへの忠誠を拒絶し、ナチスに加担するより自らの信仰に殉じ、後に列福された一人の農夫がオーストリアに実在した。彼の名はフランツ、山と谷に囲まれた美しい村で、妻のフランチスカと3人の娘と暮らしていた。戦火が激化し戦争に駆り出された彼は、ヒトラーへの忠誠を頑なに拒む。直ちに収監され裁判を待つフランツを、フランチスカは手紙で励ますが、彼女自身も村で裏切り者の妻としてひどい仕打ちを受け始める――。

なぜ、政府や軍に脅されても市長や神父から説得されても、フランツは最期まで己の信念を貫き通したのか？　そこで彼が見つめていたものは何だったのか。神の存在すら身近に感じさせるあまりにも美しい光と風景とは対称的な人間の罪。観る者は、フランチスカとの愛に満ちた心震える書簡に感動しながらも、なぜ神は沈黙されているのかと問いつつ、自らのキリスト者としてのあるべき姿を重ね合わせる。世界に再び争いの季節の足音が響き始めた今だからこそ、76歳を迎えた巨匠が作家生命をかけて人々に問う。……知られざる男の〈名もなき生涯〉を力強く崇高に描き切った、観る者の魂を揺さぶってやまない感動のヒューマン・ドラマ。

監督・脚本：テレンス・マリック（『ツリー・オブ・ライフ』『シン・レッド・ライン』）

詳しくは ⇒ <http://www.foxmovies-jp.com/namonaki-shogai/>…公式ホームページ
<https://www.youtube.com/watch?v=EfCSihj7n38>

…CGN FOCUS(フォーカス)

■キリスト教版 ポスター、チラシ、主な教会に発送済み■

一般のコピーと違うキリスト教会向けのポスター、チラシが、全国4,350件の教会に送られています。教会に掲示されているかをご確認ください。